

**会津若松地方広域市町村圏整備組合向け
有機性廃棄物リサイクル推進施設（し尿処理施設）の
整備・運営事業を受注
—DBO方式で初受注—**

日立造船株式会社は、福島県の会津若松地方広域市町村圏整備組合（構成市町村：会津若松市・磐梯町・猪苗代町・会津坂下町・湯川村・柳津町・三島町・金山町・昭和村・会津美里町、管理者：室井 照平 会津若松市長）から、有機性廃棄物リサイクル推進施設（し尿処理施設）整備・運営事業を受注しました。DBO（Design:設計、Build:建設、Operate:運転管理）方式で、当社が代表企業として、有機性廃棄物リサイクル推進施設（し尿処理施設）の整備・運営事業を受注するのは本件が初めてとなります。

当社のごみ焼却発電プラントのみならず、水処理の分野においても AOM（After Service & Operation Maintenance：アフターサービス、運転管理、薬剤販売など）事業に積極的に取り組み、高効率かつ経済的な施設の運営に寄与してまいります。

■ 本事業の背景

現存する一般廃棄物処理施設である中間処理施設（し尿処理施設、ごみ焼却処理施設、ごみ破碎処理施設・リサイクルセンター）の老朽化が進んでいることから、会津若松地方広域市町村圏整備組合はこれらの3施設の段階的な整備を計画しています。当社を代表企業とするコンソーシアムは、その最初の施設として、有機性廃棄物リサイクル推進施設（し尿処理施設）の整備・運営事業を受注しました。

■ 当社の役割

新施設の EPC（調達・設計・建設）。建設後は当社グループの特別目的会社（SPC）であるあいづエコ・オペレーション株式会社が15年間の運転管理業務を担います。

■ 効果

本施設には、浄化槽汚泥の混入比率の高い脱窒素処理方式を導入し、安定的な処理を図ります。適正かつ効率的し尿処理に寄与することで、生活環境の保全を図り、資源の有効利用に資するとともに、経済性を追求した運転管理を目指します。



新施設の外観イメージ

<概要>

1. 事業名称 : 有機性廃棄物リサイクル推進施設（し尿処理施設）整備・運営事業
2. 事業予定地 : 福島県会津若松市神指町大字南四合字オノ神地内
3. 事業方式 : DBO（Design : 設計、Build : 建設、Operate : 運転管理）方式
4. 事業期間 : 設計・建設 : 2021年3月まで
運転管理 : 2021年4月～2036年3月（15年間）
5. 処理方式 : 水処理 : 浄化槽汚泥の混入比率の高い脱窒素処理方式
資源化 : 助燃剤化方式
6. 処理能力 : 211 kl /日
し尿 : 80kl/日
浄化槽汚泥 : 131 kl /日（農業集落排水処理汚泥を含む）
7. 処理対象物 : し尿、浄化槽汚泥その他有機性廃棄物（農業集落排水処理汚泥）
8. 発注者 : 会津若松地方広域市町村圏整備組合（管理者 : 室井 照平 会津若松市長）
9. 受注金額 : 82億3,377万3,000円（税抜き）
10. 代表企業 : 日立造船株式会社
構成企業 : 株式会社共立土建、株式会社目黒工業商会、八ッ橋設備株式会社

（終）